

「市民参加懇談会 in かりわ」の概要

平成14年2月12日

1. 日時:平成14年1月15日(火)19:00～21:30

(予定を30分程度延長)

2. 場所:新潟県刈羽郡刈羽村 老人福祉センター大集会室

3. 出席者:

(当方) ・市民参加懇談会委員

碧海委員、井上委員、小川委員、加藤委員

木元座長、中村委員、吉岡委員

・原子力委員会

遠藤委員長代理、竹内委員

(会場) 約100名(会場は定員150名)

主要な原子力発電反対派団体はボイコットしたが、プルサーマルに批判的な個人の参加は見られた。

(プレス) 16社

4. 概要:

10数名が発言。

内容的には、原子力やプルサーマルについて、また、国・事業者や住民の姿勢について、多様な意見が出された。

(発言の例)

- ・ 住民投票では反対が過半数を占めたが、プルサーマルをきちんと理解して投票したかは疑問だ。
- ・ 自分としては、もっと豊かな生活をしたいので、プルサーマル賛成の活動をした。
- ・ ウランに余裕のあるときに、対策をとることが大事だ。今日は、プルサーマルのことをもっと勉強したかった。
- ・ 住民投票は刈羽村でのプルサーマル受入れを否定しただけで、我が国のプルサーマル実施を否定したわけではない。
- ・ 今回の住民投票では、事業者の地元対策が問われたのだと思う。
- ・ 国や電力会社は都合のいいことしか言わないので、公正な情報提供を行うべき。

5. 刈羽村での次回開催:

次回以降、テーマを絞って議論してほしい、等の要望・意見があったため、今後、刈羽村住民や関係者と相談しながら、次回開催について検討することとする。